

電子情報通信学会誌

第 106 卷 (1186 号—1197 号)

2023 (令和 5) 年総目次

巻 頭 言	巻 年 月	ページ
論文の多言語化サービス…………… 会長 川添雄彦	106 1	目次前
学会が生き延びるための差別化戦略を考えよう…………… 東北支部長 陳 強	106 2	目次前
つながりつむぐ…………… 調査理事 尾上孝雄	106 3	目次前
「会員拡張」のための学会…………… 情報・システムソサイエティ会長 佐藤真一	106 4	目次前
リスクマネジメントと Research Integrity…………… 監事 三宅 功	106 5	目次前
ポストコロナにおける研究会・大会…………… 副会長 眞田幸俊	106 6	目次前
学会が提供する価値, 会員が受け取る価値…………… 副会長 浅井光太郎	106 7	目次前
学会運営のインセンティブ…………… 総務理事 岡 宗一	106 8	目次前
変化は不可避である…………… 会計理事 井上真杉	106 9	目次前
多様な分野とのコラボレーション…………… 東北支部長 山本健太郎	106 10	目次前
オンライン時代の論文媒体の在り方…………… 編集理事 佐波孝彦	106 11	目次前
学び直しの時代における学会の役割…………… 企画理事 太田 賢	106 12	目次前
 慶 賀		
榑 裕之先生の令和 4 年度文化勲章受章を祝して——半導体ナノ構造による電子の量子制御と素子応用の開拓—— …………… 平川一彦	106 2	166
伊賀健一先生の文化功労者顕彰を祝して——面発光レーザ, 並列光エレクトロニクスの創出—— …………… 小山二三夫	106 2	167
 追 悼 抄		
戸田 巖さんを偲んで…………… 石野福弥	106 2	168
 講 演		
会長就任にあたって——変わらないために変わり続ける——…………… 森川博之	106 7	585- 590
GITI Forum 2023 「ICT 技術による一次産業の DX 展開からサイバーフィジカル化への展望を考察する」報告 …………… 片田寛志	106 10	945- 946
2023 年日本国際賞 (Japan Prize) を受賞して思うこと…………… 中沢正隆	106 12	1053-1062
社会インフラとしての光ファイバ通信網の進展——日本国際賞の対象を中心に——…………… 萩本和男	106 12	1063-1072
 特 集		
非地上系ネットワークの将来		
特集編集にあたって…………… 編集チームリーダー 服部恭太	106 5	357
1. 全体俯瞰/標準化状況		
1-1 Beyond 5G/6G 時代における Non-terrestrial Networks の将来像 …………… 辻 宏之 三浦 周 コレフ・ラドコフ ディミタル 豊嶋守生	106 5	358- 363
1-2 3GPP における Non-terrestrial Networks の標準化動向…………… 西尾昭彦 大内幹博	106 5	364- 369
2. 宇宙/衛星通信		
2-1 Beyond 5G の実現に向けた宇宙×ICT 技術戦略…………… 松田圭太	106 5	370- 375
2-2 宇宙統合コンピューティング・ネットワーク構想の実現に向けた基盤技術の研究開発 …………… 山下史洋 堀 茂弘	106 5	376- 381
2-3 衛星を含めた宇宙での通信実現に関する取組み …………… 高橋 幹 大河亮介 伊藤 直 松ヶ谷篤史 村田 靖 新保宏之 市村周一	106 5	382- 387
2-4 国際間長距離 5G ネットワークにおける衛星回線を統合する日欧共同実験について …………… 瀬戸口喜幸 原口大輝 宮下拓也	106 5	388- 392

3. 航空通信/HAPS (High Altitude Platform Station)			
3-1 非地上系ネットワークにおける航空機搭載用薄形電子走査アレーアンテナの研究開発			
..... 大倉拓也 菅 智茂 土谷牧夫 高橋 卓 辻 宏之 豊嶋守生	106	5	393- 399
3-2 空港面航空移動通信システム AeroMACS の研究開発と国際標準化			
..... 金田直樹 河村暁子 森岡和行 米本成人 住谷泰人	106	5	400- 405
3-3 5G Evolution & 6G に向けた HAPS 研究開発の取組み			
..... 岸山祥久 外園悠貴 小原日向 深澤賢至	106	5	406- 412
4. 海中無線/水中無線			
4-1 海中音響通信のためのインパルス性雑音耐性向上技術——シンボル選択型双方向等化の検討——			
..... 福本浩之 藤野洋輔 伊藤勇弥	106	5	413- 420
4-2 水中音響通信の厳しい二重選択性伝搬環境に有効な無線伝送方式	106	5	421- 428
..... 久保博嗣			
4-3 海中光学がもたらす高速海中光ワイヤレス通信——海中光学利用の展望——	106	5	429- 436
..... 石橋正二郎			
耐量子計算機暗号の最新動向			
特集編集にあたって	106	11	965
..... 編集チームリーダー 澤島康仁			
1. 量子計算機時代のセキュリティ——耐量子計算機暗号の動向——	106	11	966- 970
..... 高木 剛			
2. 暗号の発展——軍事外交から社会基盤へ・隠す暗号から認証番号へ——	106	11	971- 976
..... 辻井重男			
3. 現行の公開鍵暗号方式に対する Shor のアルゴリズムの脅威	106	11	977- 981
..... 國廣 昇 高安 敦			
4. NIST 標準化の格子暗号方式の紹介	106	11	982- 987
..... 安田雅哉			
5. 符号暗号とその安全性評価手法	106	11	988- 992
..... 成定真太郎 福島和英 清本晋作			
6. 多変数多項式暗号の最近の研究について	106	11	993- 998
..... 池松泰彦			
7. ハッシュ関数を用いた署名方式について	106	11	999-1003
..... 廣瀬勝一			
8. 同種写像暗号入門	106	11	1004-1009
..... 小貫啓史			
9. 量子コンピュータ時代の高機能暗号	106	11	1010-1014
..... 四方順司 佐藤慎悟 ジョ ヒョンロク 富田斗威			
10. 耐量子計算機暗号の安全性評価動向	106	11	1015-1020
..... 青野良範			
11. 量子コンピュータ時代の暗号技術に関する国内外の標準化動向	106	11	1021-1025
..... 篠原直行			
12. 耐量子計算機暗号への移行へ向けた課題と社会実装への論点整理	106	11	1026-1030
..... 伊藤忠彦			
小 特 集			
データセンターネットワークの最新動向			
小特集編集にあたって	106	2	97
..... 編集チームリーダー 梅田周作			
1. データセンターネットワークの最新動向	106	2	98- 105
..... 高橋 亮			
2. データセンター光インタコネクション技術	106	2	106- 113
..... 那須秀行 井出 聡 小山二三夫			
3. データセンターにおけるコンピューティング技術とそれを支えるネットワーク技術の動向			
..... 大下裕一 吉川隆士 村田正幸	106	2	114- 120
4. データセンターにおける光スイッチネットワーク技術の動向	106	2	121- 128
..... 植之原裕行			
5. B5G/6G におけるエッジコンピューティングの役割と超スマート社会への展開			
..... 阪口 啓 中里 仁 久保田啓一 福田英輔 朽津光広 益子 宗	106	2	129- 135
..... 澤島康仁			
電子情報通信技術のもたらす社会・個人への影響——倫理綱領改定に向けて——			
小特集編集にあたって	106	3	177
..... 編集チームリーダー 多川孝央 澤島康仁			
1. 良い倫理的意思決定のための倫理綱領——研究・イノベーションと倫理——			
..... 大谷卓史 大澤博隆 壁谷彰慶 川口嘉奈子 川口由起子 神崎宣次 久木田水生 杉本俊介	106	3	178- 183
2. データサイエンス・人工知能社会における差別と偏見	106	3	184- 188
..... 村上祐子			
3. 電子情報通信技術をめぐる「ジレンマの認識と ELSI」を学ぶ	106	3	189- 193
..... 辰己丈夫			
4. 電子情報通信技術と CSR・SDGs・ESG——倫理綱領における議論の経緯——	106	3	194- 198
..... 橋 雄介			
5. データサイエンスの ELSI——機械学習を応用する上での適正なデータ活用について——			
..... 森下壮一郎	106	3	199- 202
6. AI の ELSI と研究倫理	106	3	203- 206
..... 久木田水生			
7. 電子情報流通に不可欠な著作権保護技術とブロックチェーン技術の倫理的観点からの考察			
..... 宮田純子 岡田仁志 木下宏揚	106	3	207- 210
8. ソーシャルメディアの Trust & Safety に向けた取組み	106	3	211- 214
..... 森下壮一郎 高野雅典			
9. 法令・規定・標準等の更新について——特に「倫理と法」の議論の経緯——			
..... 橋 雄介 加藤尚徳 桑原 俊 高木幸一	106	3	215- 219

10. 倫理綱領・行動指針の改定について……………	電子情報通信学会倫理綱領検討小委員会	106	3	220- 223
「今、だからこそ！」電子工作のすすめ——未来の技術者を育てる電子工作ブームを再び——				
小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー 三木哲也	106	4	268
1. 電子工作の源流——アマチュア無線の今——				
1-1 「大学アマチュア無線部」と電子工作……………	早稲田大学無線通信研究会	106	4	269- 272
1-2 21世紀の趣味、アマチュア無線——人材育成のための現代アマチュア無線俯瞰図——				
……………	須田璃久	106	4	273- 277
2. 教育における電子工作				
2-1 学会活動での子供向け科学教育イベントの意義と魅力……………	石垣雄太郎	106	4	278- 282
2-2 高専における電子工作に関わる活動……………	山田健二 嶋田直樹	106	4	283- 287
2-3 大学教育の中での電子工作について……………	有村光晴	106	4	288- 291
3. 電子工作の輪を広げ支える組織				
3-1 電子工作キットの開発から考える電子工作の魅力……………	小室真紀	106	4	292- 296
3-2 出版から見た電子工作の現状と近未来……………	内門和良	106	4	297- 303
3-3 Maker Faire——イベントを通じて広がる電子工作の楽しさの輪——				
……………	小林 茂	106	4	304- 309
3-4 UNISEC CanSatの20年——缶サットの奥深さと電子工作の面白さ——				
……………	鶴田佳宏 佐原宏典 中西洋喜 榎原聡文	106	4	310- 313
3-5 “作ってみた”は正義——技術系展示会「NT金沢」の運営を通して——				
……………	秋田純一	106	4	314- 320
Beyond 5Gを支えるフォトニクス技術とその展望				
小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー 開 達郎	106	6	457
1. Beyond 5G ワイヤレス通信に向けた Radio over Fiber 技術とその展望……………	猪原 涼	106	6	458- 462
2. デジタルコヒーレント光伝送技術の Beyond 5G モバイルフロントホールへの応用				
……………	葛西恵介 吉田真人 廣岡俊彦 中沢正隆	106	6	463- 469
3. フォトニクス技術を用いた超広帯域テラヘルツ通信……………	永妻忠夫	106	6	470- 478
4. 異種材料集積を用いた光デバイスの最新技術動向……………	八木英樹 西山伸彦	106	6	479- 484
5. 超高速直接変調半導体レーザ…松尾慎治 山岡 優 Nikolaos-Pantelimon DIAMANTOPOULOS				
……………		106	6	485- 489
接近するバーチャルとリアル——メタバース・デジタルツインの現在と未来——				
小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー 黒川茂莉	106	8	697
1. メタバースのこれまでとこれから……………	廣瀬通孝	106	8	698- 704
2. 都市連動型メタバースの夜明け……………	川本大功	106	8	705- 710
3. 多様な感覚を惹起する神経刺激とメタバース……………	青山一真	106	8	711- 716
4. VR技術のメタバースへの応用……………	小玉 亮	106	8	717- 722
5. メタバースの教育現場への利活用……………	雨宮智浩	106	8	723- 727
6. 人のデジタルツインの動向——もう一人の自分“Another Me”実現への挑戦——				
……………	深山 篤	106	8	728- 734
7. デジタルツインのための数値・情報技術と産業応用……………	藤澤克樹	106	8	735- 742
8. ゲームエンジンが作り出す世界とデジタルツイン、メタバース……………	築瀬洋平	106	8	743- 747
9. メタバースとデジタルツイン融合の可能性、課題と展望……………	石井 亮	106	8	748- 753
セルフリー通信技術の最新動向				
小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー 吉井一駿	106	9	789
1. セルフリー展開技術の最新動向……………	菅野一生 村上隆秀 新保宏之 天野良晃	106	9	790- 795
2. セルフリー無線通信に向けた分散アンテナ技術……………	伊達木 隆 尾崎一幸 関 宏之	106	9	796- 801
3. A-RoFを活用した高周波数帯分散アンテナ…北 直樹 山本泰義 高橋雄太 内田大誠 俊長秀紀				
……………		106	9	802- 807
4. 5Gの高度化と6Gに向けたNew Radio Network Topology……………	須山 聡 岩渕匡史 山田貴之	106	9	808- 815
そのとき研究の歴史が動いた——画像認識の発展の歴史を振り返って——				
小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー 黒川茂莉	106	12	1073
1. 研究の「そのとき」を考える……………	岩村雅一	106	12	1074-1077
2. 画像局所特徴 SIFTのそのとき……………	藤吉弘亘	106	12	1078-1081
3. AlexNetのそのとき……………	牛久祥孝	106	12	1082-1085
4. イメージベーストレンダリングのそのとき……………	岡部孝弘	106	12	1086-1090
5. グラフカットのそのとき……………	石川 博	106	12	1091-1095
6. AR ツールキットのそのとき……………	加藤博一	106	12	1096-1099
7. カーネル法のそのとき……………	前田英作	106	12	1100-1106

「共生社会」実現に資する「誰でも参加」の学会・研究会を共につくろう
 ——「論文作成・発表アクセシビリティガイドライン」の活用——

小特集編集にあたって……………	編集チームリーダー	布川清彦	若月大輔	酒向慎司	106	12	1107
1. 共生社会実現に資する論文作成・発表アクセシビリティガイドライン		布川清彦	若月大輔	酒向慎司	106	12	1108-1114
2. 国際生活機能分類 (ICF) と論文作成・発表アクセシビリティガイドライン		布川清彦	若月大輔	酒向慎司	106	12	1115-1119
3. 視覚障害者の情報アクセスの状況と学会・研究会の参加……………		宮城愛美	池松塑太郎		106	12	1120-1124
4. 学会・研究会におけるろう・難聴者の情報保障——論文作成・発表アクセシビリティガイドラインの活用——		若月大輔	塩野目剛亮		106	12	1125-1131
5. 学会・研究会における発達障害がある／可能性がある人への合理的配慮等の提供		菊田知則	今野 順		106	12	1132-1136

特別小特集

画像の高画質変換技術の最新動向

編集にあたって……………	編集チームリーダー	高村誠之	106	1	1			
1. 画像復元における分析・合成システム……………		村松正吾	106	1	2- 9			
2. カラー動画像雑音除去の最新動向……………		小松 隆	中村 聡	106	1	10- 13		
3. 高画質映像の品質評価技術……………		恵木則次	山岸和久	増田征貴	106	1	14- 19	
4. ディスプレイの高画質化技術動向……………		薄井武順	106	1	20- 24			
5. 映像フレームレート変換の技術動向……………		川田亮一	106	1	25- 32			
6. ポスト H. 266/VVC に向けた最新映像高画質化処理……………		鈴木拓矢	猪飼知宏	中條 健	伊藤典男	106	1	33- 38

Artificial Intelligence of Things (AIoT) for Smart Farming

Editorial Preface……………	Editorial Team Leader	Yee-Loo Foo	106	10	877
1. Image-based Classification of Leaf Diseases Using Convolutional Neural Networks		Muhammad Umair, Wooi-Haw Tan, and Yee-Loo Foo	106	10	878- 885
2. Oil Palm Fresh Fruit Bunch Detection and Ripeness Classification Using YOLOv5		Mohamed Yasser Mohamed Ahmed Mansour, Katrina D. Dambul, and Kan Yeep Choo	106	10	886- 891
3. Mm-wave and THz Scanning for Non-invasive Farm Product Safety		Nguyen NGOC MAI-KHANH, Shintaro TAKADA, Keizo INAGAKI, Tran NGOC LE, Tran THI MY HANH, Hinano SUGIMOTO, Akio HIGO, Hitoshi TABATA, Makoto IKEDA, Bich-Yen NGUYEN, and Tetsuya KAWANISHI	106	10	892- 907
4. Wireless Sensor Network Optimization in Agriculture: Brief Review and Case Study Using 2.4 GHz Transceivers		Wei Kitt WONG, Saaveethya SIVAKUMAR, Filbert H. JUWONO, and Ing Ming CHEW	106	10	908- 918

解 説

視覚暗号の最近の進歩……………		古賀弘樹	106	1	39- 46			
レンズレスマルチピンホールカメラによるプライバシーを配慮した顔認識		石井育規	佐藤 智	山下隆義	106	1	47- 51	
量子アニーリングマシンの活用と今後の展望……………		大関真之	荒井俊太	観山正道	106	1	52- 57	
ビームスキャン形 FMCW ライダのワンチップ化……………		馬場俊彦	106	2	136- 142			
各種脅威インテリジェンスの横断分析に関する研究動向について……………		森川智博	古本啓祐	106	2	143- 148		
ダイナミックプロジェクションマッピングの作り方と使い方……………		渡辺義浩	106	2	149- 154			
ハードウェアトイとその検出技術……………		長谷川健人	福島和英	戸川 望	106	3	224- 229	
ハイパデモクラシーを目指して——AI に基づく Web 議論支援システムとその社会実装——		伊藤孝行	松尾徳朗	大沼 進	白松 俊	106	3	230- 237
これからの「再現性問題」の話をしよう……………		植田航平	益田佳卓	佐々木恭志郎	山田祐樹	106	4	321- 325
環境負荷を考慮した仮想ネットワーク制御手法……………		中村亮太	川原亮一	原田薫明	106	6	490- 495	
生体情報活用の現状と課題……………		早野順一郎	106	6	496- 501			
音楽心理学の方法——音楽の受容へのアプローチ——……………		谷口高士	106	6	502- 509			
リモート会議システムの最近の動向と今後の展開……………		山村一郎	106	6	510- 514			
電波伝搬測定データのオープン化の取組み……………		山田 渉	北 直樹	岩井誠人	今井哲朗	106	7	591- 596
AI をめぐる倫理的問題とその先にあるもの……………		鈴木貴之	106	7	597- 602			

統計的因果探索——観察データから因果関係を導く方法とその応用——	前田高志ニコラス	106	7	603- 608
尾上誠蔵氏の国際電気通信連合 (ITU) 電気通信標準化局長就任にあたり				
——移動通信ネットワークの進化と国際標準化—— [前編]	奥村幸彦	106	8	754- 762
私の数学勉強事始め	上原隆平	106	8	763- 767
尾上誠蔵氏の国際電気通信連合 (ITU) 電気通信標準化局長就任にあたり				
——移動通信ネットワークの進化と国際標準化—— [後編]	奥村幸彦	106	9	816- 826
携帯電話用電力増幅器の変遷と進化	田中 聡	106	9	827- 833
トポロジー最適化法による光デバイス設計	辻 寧英	106	9	834- 840
ポリマー変調器による超高速光伝送	横山士吉	106	9	841- 848
光を用いた音の可視化と精密計測	石川憲治	106	9	849- 854
時間同期プロジェクト・カメラシステムによる光伝搬の選択的な獲得とその応用	久保尋之	106	10	919- 924
複数の UAV を用いたインフラ設備点検の自動化に向けた取組み	宗 秀哉	106	10	925- 928
ロスレス AI——量子化前後の推論結果同一性を担保した組込み AI——				
.....	奥野智行 中田洋平 石井育規 築澤宗太郎	106	10	929- 934
個人情報保護法改正を受けた「カメラ映像を学術研究で利用するためのプライバシーを考慮したガイドライン」の変更点				
.....	赤坂亮太	106	10	935- 940
Beyond 5G (6G) に向けた情報通信技術戦略の推進	影井敬義	106	12	1137-1145
海外のハイテク集積地からのレポートシリーズ				
「ハードウェアのシリコンバレー」深センに滞在して見聞したこと、経験したこと	秋田純一	106	2	155- 161
シンガポールで研究者として働く	豊田健太郎	106	12	1146-1148
講 座				
CMOS インバーティブルロジック [Ⅲ・完] ——ハードウェア実現と応用例——	鬼沢直哉	106	1	58- 65
回 想				
無線デジタル化れい明期での PLL の研究	小久保 優	106	4	331- 337
ジュニア会員のページ				
理系を志す高校生に伝えたい超シンプル非線形回路	大平 孝	106	1	66- 70
メディアアクセシビリティについて考える	佐野雅規	106	4	326- 330
理系を志す高校生に伝えたいポアンカレ物差し	大平 孝	106	10	941- 944
コラム				
【Women in Science and Engineering】				
どうしたら理系女性研究者が増えるのか?	井上美智子	106	3	238- 240
学生／教養のページ				
表情認識とコミュニケーション応用	宇都木 契	106	9	855- 857
オピニオン				
「なじみ」について考える	福田収一	106	6	515- 518
ニュース解説				
±1,000 A の電流計測レンジで 10 mA の精度を有するダイヤモンド量子センサを世界で初めて開発				
——電気自動車によるカーボンニュートラル化を更に加速——		106	2	162- 164
量子任意波形発生器の提案と実証——光量子コンピュータの基幹となる「究極の量子光源」実現へ——				
.....		106	3	241- 242
離れた半導体量子ビット間の量子もつれ操作に成功——大規模半導体量子コンピュータ実現に向けて——				
.....		106	3	243- 244
量子コンピュータに最適な量子演算シーケンスをシステムチックに見つける手法を開発		106	3	244- 245
世界最大容量 1 波長当り 1.2 Tbit/s の光伝送技術		106	3	245- 248
衛星 SAR からの「標高モニタリング技術」を開発——土砂移動による標高差を算出することで、流域治水の取組みに寄与——				
.....		106	4	338- 339

心拍変動までを測定可能とする非接触バイタルサインモニタリングシステム……………	106	4	339- 341
超高感度で動作する導波路形フォトランジスタを開発——次世代の光電融合コンピューティングの実現に向けて—— ……………	106	5	437- 439
カフェ酸を用いた電極仕事関数の増加——電極表面に並ぶことで有機半導体に流す電流を大幅に増加—— ……………	106	5	439- 440
深紫外レーザーダイオード室温連続発振の達成……………	106	5	440- 442
ウェーハレベル LD 励起固体面発光レーザー——世界最小サイズの kW 超ピークパワーレーザーを実現—— ……………	106	5	442- 443
超伝導磁束量子ビットによる神経細胞の磁化測定——微量金属元素の定量が単一細胞レベルで可能に—— ……………	106	7	609- 610
低軌道衛星コンステレーションに向けた耐放射線 Ka バンドフェイズドアレー無線機の開発……………	106	8	768- 769
世界最高速である 50 Gbit/s の量子乱数発生器を実証——量子技術のサイバーセキュリティへの応用として期待—— ……………	106	8	770- 771
カーボンナノチューブを赤外線検知部に活用した非冷却赤外線イメージセンサを開発 ——高感度な非冷却赤外線イメージセンサの作製に成功——……………	106	9	858- 859
標準外径 19 コア光ファイバで 1.7 Pbit/s 伝送に成功——次世代の長距離光通信インフラ実現に向けて—— ……………	106	9	860- 861
60 GHz 帯無線で飛ばそう中ドローン間の「すれ違い通信」に成功 ——ドローンによる物流網を活用した大容量データ集配信ネットワークの実現に期待——……………	106	10	947- 948
シリコン量子コンピュータの実用化に向け、大規模集積に向けた新たな量子ビット制御方式を提案 ——量子ビット間の干渉を回避することで、従来よりも高い量子計算精度を維持できることを確認—— ……………	106	11	1031-1032
3 種類以上含む混合ガスのリアルタイム濃度センシングに成功 ——カーボンネガティブを支える超小形・高速応答 MEMS 熱伝導形ガスセンサ技術——……………	106	11	1032-1033
シリコン光集積回路を用いたユニバーサル量子分類器の原理検証実験 ——シリコンフォトリソによる量子機械学習の実現に向けて——……………	106	12	1149-1150
相転移メモリを利用した高いエネルギー効率のアナログ AI チップを試作……………	106	12	1151-1152

知識の森

「知識の森」新設にあたって 知識ベース「知識の森」を会誌に掲載します

…………… ハンドブック／知識ベース (HB/KB) 委員会委員長 森川博之	106	4	342
生理計測を用いた感情推定…………… 菅谷みどり	106	4	343- 344
第 5 世代セルラシステム…………… 熊谷慎也 原田浩樹 永田 聡	106	4	345- 346
テラヘルツ通信…………… 永妻忠夫	106	5	444- 445
秘密分散法を用いた秘匿演算…………… 岩村恵市 アフマド・アクマル・アミヌディン	106	5	446- 447
コミュニケーションの心理学…………… 小森政嗣 松田昌史	106	6	519- 520
リザーブコンピューティング…………… 田中剛平	106	6	521- 522
ハイスループット衛星 (HTS) …………… 三浦 周 大川 貢	106	7	611- 612
光周波数コム…………… 美濃島 薫	106	7	613- 614
クラウドコンピューティング…………… 大江和一	106	8	772- 773
環境音分析…………… 井本桂右	106	8	774- 776
オーケストレーション…………… 佐藤陽一	106	9	862- 863
超伝導デジタルデバイスとその応用…………… 日高陸夫	106	9	864- 865
ユーザエクスペリエンス…………… 東條直也	106	10	949- 950
VVC (Versatile Video Coding) …………… 岩村俊輔	106	10	951- 952
音質の評価…………… 杉本岳大	106	11	1034-1035
Massive MIMO…………… 丸田一輝	106	11	1036-1037
プラズモニクデバイス…………… 田中拓男	106	12	1153-1155
ハードウェアセキュリティ…………… 永田 真	106	12	1156-1157

ソサイエティのページ

通信ソサイエティの英文論文誌 (EB 及び ComEX) は公開サイトを J-Stage から IEEE Xplore へ変更します

…………… 通信ソサイエティ会長 辻 ゆかり

通信ソサイエティ編集長 太郎丸 真 通信ソサイエティ論文出版特別委員 山里敬也	106	1	76
通信ソサイエティ英文論文誌及びレター誌 ComEX の公開サイト変更に伴う掲載料の改定について			
..... 通信ソサイエティ編集長 太郎丸 真	106	2	165
2024年2月から通信ソサイエティ英文論文誌の論文がオープンアクセスで IEEE Xplore に掲載されます			
..... 通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会委員長 長 敬三	106	3	249
2023年10月から通信ソサイエティの英文レター誌 Communications Express (ComEX) の論文が			
オープンアクセスで IEEE Xplore に掲載されます			
..... 通信ソサイエティ Communications Express 編集委員会委員長 萬代雅希	106	4	347
来月以降通信ソサイエティ英文論文誌・ComEX に投稿され採録された論文が IEEE Xplore に掲載されます			
..... 通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会委員長 長 敬三			
Communications Express 編集委員会委員長 萬代雅希	106	5	448
通信ソサイエティの国際化戦略：英文論文誌の IEEE Xplore 掲載から次の国際化ステージへ			
.....2023年度通信ソサイエティ会長 笠原正治	106	6	523
令和4年度 Fundamentals Review ベストオーサー賞贈呈			
..... 基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ	106	12	1158-1159

国際会議

The 15th Pacific Rim Conference on Lasers and Electro-Optics	山岡 優	106	2	169
The 17th International Workshop on Security	角田 裕	106	2	169
2022 International Workshop on Smart Info-Media Systems in Asia	辻 裕之	106	3	254
2022 International Symposium on Information Theory and Its Applications	日下卓也	106	3	254
2022 International Conference on Emerging Technologies for Communications	石橋圭介	106	3	254
2022 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications	薄 良彦	106	6	531
28th Asia and South Pacific Design Automation Conference	土谷 亮	106	6	531
IEEE Symposium on Low-Power and High-Speed Chips and Systems	丹羽直也	106	11	1041
IEEE International Conference on Communications 2023	李 斗煥 笹木裕文	106	11	1041
The 2023 IEEE International Conference on Acoustics, Speech, and Signal Processing	宮崎太郎	106	11	1041-1042
The IEEE International Symposium on Broadband Multimedia Systems and Broadcasting 2023				
..... 平林祐紀	106	11	1042	
Technologies and Proof-of-Concept Activities for 6G 2023	丸田一輝	106	11	1042
The 2023 IEEE 97th Vehicular Technology Conference	丸田一輝	106	11	1042-1043
IEEE International Conference on Metaverse Computing, Networking and Applications	村中延之	106	11	1043
The 38th International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications				
..... 高瀬恭英	106	11	1043	

総会記事

口絵・名誉員推薦等				
口絵				
名誉員推薦	106	7	545-	548
功績賞贈呈	106	7	549-	553
業績賞贈呈	106	7	554-	566
最優秀論文賞贈呈	106	7	567	
論文賞贈呈	106	7	568-	575
末松安晴賞贈呈	106	7	576-	577
教育優秀賞贈呈	106	7	578-	579
教育功労賞贈呈	106	7	580	
学術奨励賞贈呈	106	7	581-	584
2022年度事業報告書・同決算書	106	7	623-	668
2023年度事業計画書・同収支予算書	106	7	669-	689

フェロー称号贈呈

口絵				
フェロー称号贈呈	106	4	265-	266

シニア会員称号贈呈

口絵

シニア会員称号贈呈…………… 106 4 267

学生会だより

研究活動が日々の暮らしに与えた影響…………… 北海道支部	106	1	71- 73
ハイブリッド開催の「フレッシュ IT あわ〜ど」報告…………… 中国支部	106	3	250- 253
東海支部における活動報告…………… 東海支部	106	4	348- 351
ウィズコロナにおける関西支部学生会活動…………… 関西支部	106	5	449- 450
九州支部学生会と各 Student Branch 活動の紹介…………… 九州支部	106	6	524- 530
東北支部における小中高生・学生員に向けた取組み…………… 東北支部	106	7	615- 617
徳島大学学生ランチの活動紹介…………… 四国支部	106	9	866- 867
北陸支部からの学生会だより…………… 北陸支部	106	10	953- 955
東京支部学生会の活動について…………… 東京支部	106	11	1038-1040
田邊造研究室の紹介…………… 信越支部	106	12	1160-1161

図書紹介

1月(74- 75) 3月(255) 6月(532) 7月(618- 619) 9月(868- 869) 12月(1162)

国内文献目次

6月(533) 11月(1044)

図書寄贈一覧

6月(533) 11月(1044)

本会だより

2月(170) 3月(256- 257) 6月(534- 537) 7月(620- 622) 8月(777- 778) 9月(870) 10月(956- 957)
11月(1045-1046)

編集室

1月(77) 2月(171) 3月(258) 4月(352) 5月(451) 6月(538) 7月(690)
8月(779) 9月(871) 10月(958) 11月(1047) 12月(1163)

正誤

1月(51) 8月(779) 10月(957)

会告

1月(78- 96) 2月(172- 176) 3月(259- 264) 4月(353- 356) 5月(452- 456) 6月(539- 544) 7月(691- 696)
8月(780- 788) 9月(872- 876) 10月(959- 964) 11月(1048-1052) 12月(1164-1167)

